



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成30年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成30年2月9日(金)

事業名	障害を理由とする差別の解消の推進	予算(案)の概要 57、58 ページ
予算額	25,097 千円 (拡充) (前年度予算額 19,197 千円)	
取材先	福祉部障害者福祉課長 関本 (電話 03-5273-4513)	

障害を理由とする差別の解消の推進

事業概要

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の趣旨を踏まえ、障害の特性に応じたコミュニケーション支援等の推進や区民への啓発活動等を行います。また、毎年12月に実施している障害者福祉共同バザールの開催規模を大幅に拡充するとともに、障害理解啓発のための映像を作成し、各課イベントや区内街頭ビジョンで放映することにより、区民のみならず新宿駅周辺を利用する多くの人に対する障害理解の促進を図ります。

項目①意思疎通支援事業 15,362千円

- (1) 手話通訳者及び要約筆記者の派遣
- (2) 意思疎通支援のための職員配置
- (3) 手話通訳者選考試験の実施



項目②障害者差別解消の推進 1,243千円

- (1) 障害者差別解消支援地域協議会の開催
- (2) 区職員向け研修の実施
- (3) バリアフリーマップのHP更新
- (4) 周知用リーフレットの増刷・配布



項目③理解促進研修・啓発 8,492千円

- (1) 障害者福祉施設共同バザール・障害者作品展の開催 (拡充)
- (2) 障害理解啓発のための映像作成 (新規)

障害者福祉施設共同バザール・障害者作品展の開催 (拡充)

【共同バザール障害者作品展の様子】



共同バザールの会場スペースを倍増し
開催規模を大幅に拡充



- ① 参加事業所(出店数)の増加、各ブースの拡張
- ② ステージを広げ、出演者も増加することで盛り上げをアピール
- ③ 障害疑似体験スペースを拡張し、ステージで行う催しとの連携をすることで、体験者数の増加を見込む



障害理解啓発のための映像作成 (新規)

区主催のイベント時や区内にある街頭ビジョン等を通じて、障害者週間に開催する障害者福祉施設共同バザール及び障害者作品展等の大規模な周知や、障害の特性や障害者への接し方をわかりやすく解説した障害理解のための映像を制作・放映することにより、広く障害理解の促進を図る。

15秒版



【区内街頭ビジョンの例】

180秒版



【区政情報モニター】

- その他放映場所
- ・ホームページ
 - ・区主催イベント
 - ・職員研修 等